

(様式2)

## 「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書 (参加学生)

平成 26年 9月 29 日

所属： 工学資源学部地球資源学科                      学年 4年  
氏名： 鴻巣僚  
研修先大学・機関名等 (国)： APEX Mining Corporation (フィリピン)  
在籍身分：  
渡航年月日： 2014年 8月 5日  
帰国年月日： 2014年 8月 19日

### ○研修先での学習内容等

8月7日からはミンダナオ島南東部の鉱床とその周辺に形成された鉱床の特徴を調査するために、周辺地域の野外調査や、坑道の観察を行った。8月16日にはその地域のボーリングコアを観察し、記載を行った。

### ○研修期間の生活面について

午前6時半頃に朝食を食べ、調査は午前7時半頃に始まり、サンプルの採取、坑内観察の記載、野外においては露頭の観察、ボーリングコア観察を行った。午前11時～午後1時ごろまで昼休み、宿舎でサンプルの観察、記載事項のまとめを行った。そのあとは午後6時頃夕食を食べ、その後データ整理などを行い、午後11時頃に就寝した。

### ○研修期間全般にわたる感想

私は今回が、初の海外で周囲の人が日本語を話せないという状況が初めてでした。また日本とは違った環境に少し戸惑ったこともありましたが、相手が何を伝えたいのか理解できないことも多く、意思疎通がとても大変だった。しかし、違った環境に身をおくことができ、とてもいい経験になったと思う。

### ○今後の勉学計画

採取したサンプルを用い、XRD や流体包有物、顕微鏡観察を行い、ミンダナオ島南東部の鉱床における石英脈の特徴について明らかにする。

(様式 2)



調査に協力していただいた APEX MINING 社の地質技術者らと